

米

今井 隆

(合資会社 龍の瞳) いまい たかし

お米「龍の瞳」
の販売・普及

「天から授かった
『龍の瞳』」の感動

本人
コメント

2000年9月、
私はコシヒカリが植
えられた2aの畑田

で、背がとて高くて巨大な
稲をつけた数本の変異稲に出
会った。後に、私の人生を変
えることになる「龍の瞳」で
ある。初めて龍の瞳を食べた
ときに感動は、今も記憶に残
る。お米の香ばしさ、甘さ、
粘り、噛み応え、それをとっ
ても抜ぎん出ている。味のみ
ではなく、コシヒカリの1.5倍
という大きさには、衝撃を受
ける。51歳で長年勤めた農林
水産省の職場を辞め、龍の瞳
の普及・販売に携わるように
なる。「あなたが選ぶ日本一
おいしい米コンテスト」で、
07年08年と二年連続して日本
一になるなど、良食味米とし
て認知された。龍の瞳は、低
農薬・有機肥料栽培というこ
だわりがあり、お米としては
珍しくコンセプトを持つ。現
在、NPO法人龍の瞳倶楽部
を設立して、山・川の再生事
業に取り組んでいる。一銭た
りとも、あの世に持っていく
ことはできない。多様な生物
が息できる環境を作ること
こそ、人間の使命ではないか。



稲が実る



無農薬米の田植え体験

讀者メモ / 初めて「龍の瞳」を食べたとき、
その粘りに驚いた。まるで餅米のような弾力。
米の粒の大きさが通常のコシヒカリの1.5
倍もあるので、すでに米を研く時点で「お
や?」と思う。お腹の持ちもいいし、噛むほ
どに甘いし、お米だけで何杯でも食べられ
る! 欲を言えば、もっともっとたくさん
の人がたくさん食べられるように、たくさん
作って欲しい。下品に行ったとき、売り切れ
ていたし、ネットでも無農薬は売り切れてた。
もっとたくさんできないかなあ、と無責任な
消費者として思うばかり。ちなみに「龍の瞳」
は、今井さんと奥さんの名前をとって命名。
すごく素敵!

<今井隆>

1955年、岐阜県に生まれる。74年に
農林省に入省。小説、詩、ルポなど幅広い
創作活動を行い、文芸同人誌「麦夢」を主宰。
「NPO 法人 龍の瞳倶楽部」代表理事。現
在は、(資)龍の瞳社員。

合資会社 龍の瞳
岐阜県下呂市萩原町宮田 1435-1
電話 0576-54-1801 FAX 0576-54-1836
メール ryunohitomi@car.ocn.ne.jp
HP <http://www.ryunohitomi.jp>



粉・精米比較

龍の瞳

コシヒカリ

商品

